

## 第14回全国高等学校「軽音フェスティバル」における選考に関わるルールについて

**審査員** 全国高等学校「軽音フェスティバル」実行委員会が依頼する、軽音楽部連盟大阪の役員や関係の専門家

### 選考に関わるルール

#### (1) エントリールール

- ① 演奏時間は6分以内
- ② バンドのメンバー人数は2人以上11人以下
- ③ メドレーは禁止
- ④ 今年の「We are Sneaker Ages」コンテスト（三木楽器グループ・産経新聞社主催）の「課題曲、およびグランプリ大会にエントリーしている楽曲」でのエントリーは禁止
- ⑤ 過去に同じ学校が公的な大会で発表した曲は不可。（具体的には先輩が賞をもらった曲等を後輩が受け継ぐ形で演奏

し

ている曲での参加は認められない。※例外 前回の本大会後から今までに発表した曲は可)

#### (2) 選考方針 できるだけ多様な演奏形態、楽曲のバンドを選出

#### (3) 選考基準

(ア) 本大会は、演奏力だけでなく、部活動としてのマナーなども選考の基準とする

(イ) (1)のエントリールールの違反に対しては、出演禁止から選考対象外や減点の対応を行う

#### (ウ) 演奏時間について

司会の「どうぞ」から演奏終了時のボーカルの「ありがとうございました」で計時。インストゥルメンタルの場合は、「ありがとうございました」を言うプレイヤーを予め決めておくこと。6分を超えた場合は減点

#### (エ) 演奏曲について

- ① オープニング（バンド紹介）演奏やエンディングの演奏が、演奏時間に関係なく、2曲目（1.5曲など、1曲よりも多い）と審査員が判断した場合は失格または減点
- ② 間奏などに、元楽曲のアレンジ以上の演奏（別曲のフレーズや明らかにオリジナル演奏など別な曲）が入っていると審査員が判断した場合は失格または減点

#### (オ) 演奏形態について

- ① 出演メンバーによるライブ演奏であること。
- ② 現在、様々な演奏方法やライブパフォーマンスがあり、演奏形態を細かく規定することはできない。そのため、特に禁止事項は設けませんが、以下の例を参考にすること

※あくまでも審査員の審査基準によって選考

(例1) 無いパートの音源などをシーケンサーなど自動演奏で流す。→ 選考対象外

×キーボードがないのに、キーボードの音を流す

×シンセサイザーやデジタルパーカッションで自動リズム音を流す

(例2) ギターがディレイを用いて実際に弾いた音を輪唱のようにする。→ 可

#### ③ 設置されている楽器や音響機器の移動は認められません。

(例1) ギターアンプを下手に移動 → できない                      キーボードを反対側に移動 → できない

ドラムセットを1タム仕様に → できない

(例2) キーボードを弾きながらのボーカルのため、中央に移動 → 可

ドラムセットにチャイナシンバルを増やす → 持ち込み可ですが、マイキングはありません

#### (カ) その他のペナルティ → 選考対象外か減点

提出物の〆切を守らない。集合時刻への遅刻。セッティングリストの変更（〆切前のセッティングリスト変更は可）

#### (キ) ご協力をお願い

- ① リハーサル時間の短縮に協力
- ② ワイヤレス機材については、使用不可となる可能性もあるので、必ずケーブル（シールド）の使用ができるよう準備のこと。